

東葉高校への出前講座の実施に係る課題について

分類	4月15日の委員会が出された意見	東葉高校と協議した上での対応案
実施内容の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 自身の政治活動や選挙活動と出前講座の立場を分けられるのかということも含めて議論すべき。(創風ふなばし) ● 行った議員だけが紹介されるとなると、選挙が近くなればなるほど、そこで名前を公表するという場にできてしまう。(自由市政会) 	<p>東葉高校での内容は、夏の議会見学会に準ずるものであり、議員の色が出ないように、議会の役割説明に関して台本を用意します。質疑応答に関しては、当初、出席議員は3~4人の要望だったものが、広報委員会で自由に決められるようになりました。そのため、議員同士のチェックが働く構成にすることができます。</p> <p>また、当日は出席議員の自己紹介は行わない、質疑応答では1つの質問に対し基本的に出席議員全員が回答するなどの工夫により、公平性を担保することができますと考えます。</p>
当日派遣する講師の選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 出向く議員は誰なのか、広報委員以外も含めるかなど、議論が必要。(創風ふなばし) 	<p>出前講座の内容が議会見学会に準ずるため、議会の広報・広聴に関する事項を所管する広報委員会が、議会見学会と同様に実施するという考え方も成立すると考えます。</p> <p>また、校長先生としては、あくまでも議員は50人いて、その中の数人が役割で来ているということ、事前に議員の名簿を渡すなどして知らせるよう配慮してくださるということでした。</p>
実施時期の検討	<ul style="list-style-type: none"> ● 任期中の前3年だけ出前講座を実施して、残りの1年は選挙にまたがるからやらないというやり方もある。(自由市政会) 	<p>今期は残り1年となっていますが、上記のような(公平性を担保する)対策をとることにより、実施は可能ではないかと考えます。</p>

<p>事業の取り組み方の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 主権者教育の一環で議会の話を知りたいという流れの中で、議会がそれに応えるというのが本来の形。こちらから「やりますよ」と持ち掛けているような雰囲気もあるので、取り組み方も含めて今後協議が必要。(創風ふなばし) 	<p>校長先生から、生徒にとって、市民に最も身近な政治の場である市議会について知ることは有意義だと考えるし、議員から直接話を聞けることはそれだけで良い社会勉強になると考えるため、「主権者教育」という言葉や形にはこだわらないとの発言がありました。そのうえで、改めて、東葉高校から出前講座の実施をお願いしたいとの依頼がありましたので、広報委員会がその依頼に応えるか否かを判断するということになると思います。</p>
<p>すでに実施している他市の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 出前講座を実施した可児市の状況も勉強していない。(創風ふなばし) 	<p>来期以降のために先進市の事例研究をしておくことは有意義であり、今期の委員会の中でも調査や視察を検討することは可能です。しかし、東葉高校に関しては、すでに実施経験のある夏の議会見学会の内容に準ずるため、先進市の事例研究がなくても実施できるものではないかと考えます。</p>